

平成 28 年 11 月 28 日

(臨床研究に関する公開情報)

国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として、さまざまな臨床研究を行なっております。今回、下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画及びその方法についてお知りになりたい場合、研究において検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究のために患者さまの負担や危険が増えることはございません。また、ご了解できなかった場合、患者さまにとって不利益になることは一切ございません。

[研究課題名]

Resuscitative Endovascular Balloon Occlusion of the Aorta (REBOA) 留置時における至適位置の検討

[研究責任者]

中嶋賢人 救急科 医員

[研究の概要]

外傷に伴う血圧低下の際に REBOA というデバイスを留置することがあるが、その至適留置位置に関する推奨はない。それを明確にすることで緊急時の安全性を高めることができると考えられる。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日の間に外傷に伴う集中治療（検査）を受けた方

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身長、体重、身体所見、検査結果（血液検査、造影 CT 検査）

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 救急科

電話 046-822-2710（代表） FAX 046-822-9139

*お問い合わせ内容により、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことをご了承ください。